

同時発表：高知県県政記者クラブ

令和8年2月10日
四国地方整備局
高知河川国道事務所

魅力ある地域づくりを称える
令和7年度「手づくり郷土賞（国土交通大臣賞）」
～認定証の授与式を開催します！～

「手づくり郷土賞」は、地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わりのある優れた地域づくり活動を表彰するものです。

令和7年度（第40回）は、四国から1件が「手づくり郷土賞【一般部門】」に選定されました。※別添1参照

この度、認定証の授与式を以下のとおり開催します。

<一般部門>

受賞団体：日高村 一般社団法人日高村観光協会 高知河川国道事務所

件名：巨大な水のトンネルは、未来のトビラ。 ※別添2参照

～新日下川放水路のインフラツーリズム～（高知県日高村）

開催日時：令和8年2月18日（水）16時00分～

会場：日高村役場 3階 大会議室（高知県高岡郡日高村本郷61-1）

式次第：認定証授与、祝辞、活動報告 等

当日取材を希望される報道機関等の方は、必要事項をメール本文に記入のうえ、令和8年2月17日（火）12時00分までにお申し込みください。

- ・必要事項：貴社名、取材者氏名、取材人数、連絡先（TEL・E-mail）
- ・申込先：skr-koucha45★mlit.go.jp ※アドレスの「★」を「@」に置き換えて送信ください。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」の取組に関連します。

<問い合わせ先>（○：主な問い合わせ先）

【手づくり郷土賞全般について】

国土交通省 四国地方整備局 企画部 広域計画課 課長 矢野 裕紀（内線3211）

電話 087-811-8309（直通） ○課長補佐 矢野 峰（内線3212）

【認定証授与式について】

国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所 副所長 中岡 昭浩（内線204）

電話 088-833-0111（代表） ○事業対策官 宮地 憲一（内線208）

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和7年度で40回目。

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和7年度）

委員長	野澤 康	工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授
委員	小浦 久子	奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室 客員研究員
委員	斉藤 俊幸	イング総合計画株式会社 代表取締役／地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京科学大学 環境・社会理工学院 教授
委員	西村 浩	株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役

(敬称略)

【活動地区：高知県日高村】

案件名

巨大な水のトンネルは、未来のトビラ。 ～新日下川放水路のインフラツーリズム～



<地域活動団体>

- ・日高村 ・一般社団法人日高村観光協会

<対象となる社会資本>

新日下川放水路（高知河川国道事務所）



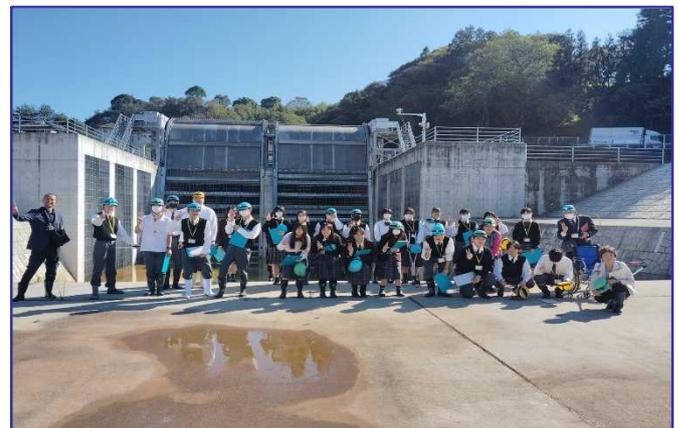
▶完成式典（近隣幼稚園児達による歌とダンス）



▶試行中のカヌーや水上自転車によるトンネルクルーズ体験



▶施設運用前に実施した日本初となる放水路ダークキャンプ



▶インフラツーリズムを活用した観光地域づくりの推進

<活動内容>

令和2年8月に、国土交通省「インフラツーリズム魅力増進プロジェクト」のモデル地区に選定されたことをきっかけに、インフラツーリズム活動を開始した。現在は新日下川放水路への潜入ツアーを通じ、水害と戦ってきた日高村の歴史学習や放水路に棲む生き物観察体験を提供している。

今後においては、日高村グルメ「オムライス街道」や特産品「シュガートマト」などの既存の地域観光資源との連携強化と、放水路内でのカヌーや水上自転車によるトンネルクルーズ体験など、新たな高付加価値コンテンツの整備・提供とともに防災学習を見据えた教育旅行ツアーの販路拡大、継続販売体制の確立を目指し活動を拡大していく。